

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

事業所名 すてっぷ小祿

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・活動に応じて対応できる部屋数、設備が整っている	
	2	職員の配置数は適切である	8			・十分な人員を確保し、様々な送迎や児童の対応が行える人数を確保している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4			・静の活動、動の活動と様々な動きが出来る広さがある中、車椅子利用の児童が来書した際、過ごしにくい構造になっているので、ステップを作る等して対応していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		毎週、毎日その時々 の目標設定や振り返りを大事にしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・お便り帳や帰りの送迎等で連絡、情報の共有を行い、対応を行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5		・前回集計した評価表をホームページに掲載している	・情報の発信が弱いので、今後ホームページだけでなく、お便りや相談員への伝えを増やしていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5			・上手く活用出来ていないので、今後対応していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		・那覇市のホームページや福祉関連のホームページを確認し、対応している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			保護者からの情報や、職員で話し合い支援計画の作成を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				・アセスメントツールを今後利用予定
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・職員同士で話し合い、月案を立てて取り組んでいる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・ねらいを立てて、児童に飽き来ないよう工夫を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・休日や長期休み等、滞在時間が長い時にはスペシャルな活動を立案し対応している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・保護者からの情報や、職員で話し合い、支援計画の作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・日々の朝礼やミーティングで確認したうえで支援を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・日々の終礼や振り返りを行い、情報の確認、共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・日々の終礼や振り返りを行い、情報の確認、共有を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・保護者からの情報や、職員で話し合い、支援計画の作成し判断を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8			・ガイドラインを参考にいろいろ組み合わせ支援を行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・児童の担当者及び管理者が話し合いの下参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			・送迎時や電話連絡を通して連携を取りながら素早い対応を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4	1		・医ケアが必要な児が利用していないので、今後利用する事を念頭に関係機関と連携を取っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		・定期的に会議や面談を行い、相互理解に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5			・事業所を卒業し、直接障害福祉サービスに移行する児童が現在までいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	3	・他の事業所の方や相談員と関わり、研修の情報をキャッチし、研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			8		・コロナの影響もあり、現在交流が出来ていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	8		時々参加出来ているが、頻繁ではないので今後改善していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・送迎時の送りや事業所へのお迎え時に今日一日の出来事ややり取りを細かく伝え、児童の課題改善に取り組んでいる	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1		・以前に参加したペアレント・トレーニングの資料を参考に支援の方法や例を伝えている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		・利用開始前の面談で書面を通じて細かく説明している。また、質疑応答にも対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・電話やLINEだけでなく、面談の希望も取るようにし、直接的な相談支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	4		・コロナも含め、集まれる機会を作れてないので、今後改善に取り組んでいく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・電話やLINEだけでなく、送迎時の引き継ぎ等も含め、迅速な対応が出来るように日々取り組んでいる。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2		・月間の利用カレンダーや、活動予定表を作成し、情報の発信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	8			・写真や名前の使用の際には必ず保護者の確認を再度とって対応を行っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			LINEや電話で細かい対応を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	6		・現在は出来ていないので今後改善し対応を行っていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	1	作成したマニュアルを参考に行っている。	・古いマニュアルもあるので、最新のものに今後変更していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	4		年に2回程行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・資料を準備し、定期的に虐待研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			・契約時の説明の際に確認し、対応について詳しく伝えている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			契約時に保護者と確認し対応を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ヒヤリハットが起きた際には、職員同士でその日のうちに振り返りを行い、記録にとり共有を行っている。	